

事業所名 ハッピーテラス南浦和教室（放課後等デイサービス）

公表日 2025 年 2 月 4 日

	チェック項目	はい	いいえ	非該当	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	0	・教材の収納を見直しながら改善している ・今後、放デイの利用人数が増えた場合、活動のスペース割りの工夫が必要と感じる。	・人数によってどうスペースを使っていくか検討する必要がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	0	・玄関口のみバリアフリー化 ・トイレに関しては	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	0	・ご利用者に合わせた空間づくりができるように固定されていない	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	0	・状況に応じて、別室での対応も可能	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	0	・午前・午後の打合せ時間を設けている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	・改善できることは積極的にやっている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	・管理者により職員面談を行い、意見の共有する機会を設けている	・責任者による面談も行き、より意見がしやすい関係性を築いていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	3	・今後検討 ・行っていない	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	0	・月に1度研修を実施 定期的に研修を行っている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	0	・3から6カ月で面談を実施。その他状況に応じて計画の見直し・更新を実施	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	1	・ケース会議で指導員からも療育の様子を聞き取り、全体で考え作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	0	・作成後に職員に共有している	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	0	・個別活動がメインなので、各担当に任されている ・療育後、前のプログラムでの様子を共有を行い、次に生かしながら立案している。	・担当が立案をするが、相談しやすい環境を整えていく
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	0	・1人1人の課題に合わせて内容を考えており、毎回少しずつ変化している。	・常にお子さまに合わせて、変化できるように指導員自身成長ができる職場作りをしている。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	0	・基本は個別療育を実施。療育のあとの余暇やイベントなどで他社との関わる時間を設けている。 ・個別支援を主にこなっているため ・個々の課題に応じて	・個別での対応でも、集団での取り組みでも対応ができるよう意識して課題を設定することも意識する。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	0			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	0		・午後の活動は翌日振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	0			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	0		・その他、保護者とやり取りを行い、事業所外の様子の聞き取りを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	1	0		・地域交流の機会の提供以外の3つを組み合わせ合わせて実施している	・地域交流の機会を設ける
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	0				
関係機 関や保 護者との 連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	3	0		・必要に応じて	・必要に応じて積極的に参加していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	0			・今後連携が取れるよう努力する
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	5	0		・関わる機会が少ないが、今後情報共有できる関係を築いていきたい	・共有できるよう関係を築いていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	0		・特定の児童（保護者からの要望があった）のみ学校との連携を実施。	・要望がある場合は積極的に情報共有をしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	2		・小学生が主のため対象外 ・該当者なし	・対象者がいる場合は、積極的に情報を提供していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	0		・研修に参加	・研修には参加していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	0		・イベント企画を考えたい	・イベント等で検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5	0			・積極的に参加していきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	0		・フィードバックの時間を多く取っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	0			・研修の場を検討したい
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	0			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	0			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	0			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	0			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	0		・考案計画 ・イベントできょうだいも参加できる	・保護者同士で関わる機会をイベント等で企画していきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	0		・苦情なし	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	0		・通信は月1回。SNSの配信は週1実施。 ・毎月の通信あり		

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	0	・配慮を要する対象がない	配慮を要する場合は、配慮していく必要がある
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	0	・月に数回、一般の方に向けて教室開放を実施。 ・教室開放など行っているが、周知されておらず、積極的に関わる努力をする必要がある。	・周知活動に力をいれる
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	0	・該当者なし	